



みどりの学校を終えて ～ChanceにChallenge, 自分をChange!～

6月2日(火)から4日(木)の3日間、2年生がみどりの学校に行ってきました。2年生162名欠席者もなく全員参加のみどりの学校となりました。今年のテーマは「ハートフル3C～ChanceにChallenge, 自分をChange!～」。2年生はこれまで実行委員会を中心にして十分な準備を重ねてきました。2日目の午前中の雨のため、すべて予定通りとはいきませんでした。みんなが一丸となって一生懸命取り組み、全員で楽しめたみどりの学校になりました。

一日目(6月2日)

天気もよし。県民の森の手前でバスを降り、自然の中を2kmほどのプチハイキングを楽しみました。碧南にはない山の自然。鳥のさえずりも新鮮でした。入村式では、開始3分前から式の雰囲気作り。静かに開始を待つ姿はさすが東中2年生でした。実行委員会による司会進行、生徒誓いの言葉いずれも大きな声で立派でした。入村式に参加された教育長先生からもお褒めの言葉をいただきました。

練習をしたとはいえ、初めての食事作り。豚井か親子井のセレクト。気がせて早く火を起こしすぎて、強力な火が燃え盛っているのに食材



の準備ができずに火にかけるものが間に合わない班もありました。また、飯ごうやなべをかけた後も一生懸命あおぎすぎて、無駄にまきを使ってしまう班もありました。しかし、できあがってみれば、まずまずの出来上がりでおいしくいただきました。

食後は、待ちに待ったキャンプファイヤー。火の神降臨。希望の火、仲間の火、絆の火、笑顔の火、挑戦の火。5つの火をいただき、みんなではじけるショータイムが始まりました。各クラスのスタンツ、フォークダンス、ゲームどれも盛り上がりました。ファイナーレは火の舞です。練習以上に素晴らしいできでした。火文字は「協挑絆」みんなの想いを確認し合いました。



二日目(6月3日)

早朝より雨。予定していたハイキングを午後

わとび大会。自然との共生を意識するひと時となりました。大なわとび大会は昨年のK's杯で経験済み。各学級、練習して大会に臨みました。大きな掛け声、満面の笑顔の中で、学級の和を高めることができました。



午後からは、危険のない下の道を通って亀石の滝までのハイキング。いつもは少しの水がちょろちょろといったところの亀石の滝。今回は、午前中の雨のためか、かなりの水量で迫力のある滝が見られました。滝近くの待合では、大声コンテスト。仲間とともに大声にチャレンジする姿も素敵でした。

定番のカレーライスを食べたあとはナイトトーク。キャンドルツリーに灯をともし、友達への感謝、家族への感謝の想いを深める機会としました。代表者の発表を聞き、親からの手紙をじっくりと読むうち、目に大粒の涙を浮かべる生徒、号泣してしまう生徒。自分をふり返し、あらためて親への感謝の想いを深めることができました。



三日目(6月4日)

朝食は定番のうどん。冷え込んだこともありとてもおいしくいただきました。後片付けを終えた後、このみどりの学校をふり返るとともに、寄せ書きを書いて帰校しました。たくさんの方の保護者の方がお迎えに来てくださいました。「この3日間で友達のいいところや友達の大切さを学びました。ご飯を作るときとかに、みんな協力することがすごく大切だということを学びました。」「いつもお母さんにやってもらってるのが結構大変だった。これからお手伝いします。」といった寄せ書きが見られました。



キャンプファイヤー委員長として 木田 隆城（2-1）

ファイヤー委員会は、キャンプファイヤーを盛り上げるのが仕事でした。最初に、話す時と聞く時と相談する時にけじめをつけることとあいさつのことを注意されました。けじめとあいさつはどの実行委員会でも同じことなのに、できていなくて残念でした。その後は注意されることはなかったですが、自分としては周りの人としゃべっている人がいたときに注意できるとよかったです。

火の舞では、はじめは基本の技からやって、できない人はできる人に教えてもらってしっかり協力できたと思います。技ができるようになった人から、自らすすんで曲に合わせてやってくれてとても助かりました。

火の舞はみんなで一つのものを作ります。途中で意見が合わなく言い争うこともありました。そんなこともなかったようにみんなで練習を一生

懸命やることができました。だから、本番があんなにいいものになったんだと思います。火の舞はほんとにみんなで協力してやれていいものを作れてよかったです。

キャンプファイヤーの司会の時は、みな1回目のファイヤー集会の時よりすごく自信をもって堂々とやれていたし、何よりも二年生全員が話を聞く時と楽しむ時のけじめをつけられたこと、計画通りに進められたことがよかったです。

キャンプファイヤーのスローガンである「みんながけじめをつけて笑顔になって一生の思い出に残るキャンプファイヤー」は、けじめもつけられたしみんな笑顔で楽しめていたので、一生の思い出に残ったと思います。みんながスローガンを達成することができてよかったです。

友達 ～ナイトトークより～

ぼくにとって、友達とは、かけがえのない存在です。今まで、困ったり、落ち込んだりしたことが、たくさんありました。でも、そんなときに、いつもそばにいて支えてくれた友達がいました。もしも、その子がいなくなったら、落ち込んだままで、立ち直ることができなかったかもしれません。

小学校最後のクラス対抗大なわとび大会のことです。日進小学校は、クラスが2つしかないの、優勝か最下位しかありません。だから、ぼくたちのクラスは、優勝を目指して、毎放課みんなで練習をしました。準備を万全にして迎えた大なわとび大会本番。どのクラスも緊張した雰囲気の中、大会が始まりました。クラス全員で、声を出して数を数え、順調に記録を重ねていたとき、ぼくが緊張で転んでしまいました。そのせいで、ぼくたちのクラスは負けてしまい、結果は最下位。せ

高須 啓太（2-4）

っかくクラスで一つになってがんばって練習したのに、ぼくのせいでクラスが負けてしまいました。ぼくは、とても落ち込みました。そのとき、友だちが、「大丈夫だよ。今日は、床が滑りやすかったから、そのせいだよ。」と、優しく声をかけてくれました。その言葉と優しさが、落ち込んでいた僕を立ちなおさせてくれました。とても良い友だちを持ってよかったと心から思いました。

これからの中学校生活でも、つらいことや悩むことがきっとあります。そんなときこそ、友だちと協力したり、お互いに励ましあったりすることで、どんな高い壁でも越えることができると思います。いつもそばにいてくれる友達への「ありがとう」の気持ち忘れずに、中学校生活を過ごしていきたいです。